

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	村岡運輸株式会社 本社第二倉庫	階数	地上3F
建設地	大阪府寝屋川市葛原1丁目	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	3人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年10月 予定	評価の実施日	2020年1月9日
敷地面積	2,957㎡	作成者	梶尾 太一
建築面積	1,055㎡	確認日	2020年1月9日
延床面積	2,895㎡	確認者	梶尾 太一

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境: N.A. 温熱環境: N.A. 光・視環境: N.A. 空気質環境: N.A.

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

機能性: N.A. 耐用性: 2.8 対応性: 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

生物環境: 2.0 まちなみ: 3.0 地域性・地域環境: 1.5

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

建物外皮の: N.A. 自然エネ: 3.0 設備システ: 5.0 効率的: 2.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

水資源: 2.2 非再生材料の: 2.8 汚染物質: 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

地球温暖化: 4.0 地域環境: 3.5 周辺環境: 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
可能な限り緑地を敷地境界面に設けている。		雨水貯留槽を建物下部に設け、豪雨対策としている。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
屋根面には遮熱塗装をほどこしている。	敷地内には既設事務所兼倉庫棟があるので、この建物は倉庫用途のみとなっている。	道路面には緑地(樹木)を設け、塀はメッシュフェンスとして周辺環境への配慮としている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
屋根面へは将来、太陽光発電パネルの設置を計画している。	構造体と仕上材は容易に分別可能なものとしている。	適切な駐車・駐輪台数を確保している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0141

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	村岡運輸株式会社 本社第二倉庫						
		建設地	寝屋川市葛原1丁目						
		用途/区分	工場						
【評価結果】		CASBEE 総合評価					B+		
①	CO2削減					4			
②	みどり・ヒート アイランド対策					2			
③	建物の断熱性					評価対象外			
④	エネルギー削減					5			
⑤	自然エネルギー直接利用					—			
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
エネルギー消費量の報告						報告しない			
【評価項目】									
項目		評価内容				スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				4.0	4		
② みどり・ヒートアイランド対策									
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	2		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0			
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価					-		
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				5.0	5		
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない		
その他									
		技術の名称			考慮事項				
先進的技術の導入									
特に配慮した事項									